

第 52 回宮崎県小学校教育研究会社会科部会

夏季特別研修会資料



令和5年8月7日(月)

目 次

1 宮崎県小学校教育研究会社会科部会 研究主題	・・・・・・・・・・	1
2 研究発表資料 小林立三松小学校 教諭 佐藤 華芳	・・・・・・・・・・	6
3 学年部別研修資料		
(1) 中学年 延岡市立東小学校 指導教諭 東坂 将秀	・・・・・・・・・・	24
(2) 高学年 延岡市立北川小学校 教諭 長友 強	・・・・・・・・・・	29
4 県義務教育課による講習資料	・・・・・・・・・・	35

宮崎県小学校教育研究会 社会科部会 研究主題
自ら学び、考え、社会を拓こうとする子どもを育てる社会科学習
～思考力・判断力・表現力を育む授業を通して～

I 主題設定の理由

現代社会は、情報過多・国際社会の進展や価値観の多様化など、人々の生活環境がめまぐるしく急速に変化している。また、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により産業構造や雇用環境が急速に変化し、さらには急激な少子高齢化が進行する中で、次世代を切り拓く子どもたち一人一人が、個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことのできる“持続可能な社会の形成者”として、豊かにたくましく成長していくことが期待されている。

このような社会であるからこそ、民主的、平和的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、自他の人格を互いに尊重し合うこと、社会的義務や責任を果たそうとすること、社会生活の様々な場面で問題解決に向けてよりよい方向を考えたり公正に判断したりすることなどの態度や能力が、子どもに身に付いていくようにしなければならない。将来の主権者にふさわしい公民的資質の基礎を育てること、つまり、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を育てることをめざす社会科の役割は、ますます重要になっていると考える。

学習指導要領の社会科の目標には、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。」と示されており、小学校社会科において育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に沿って明確化し、社会的事象の見方・考え方を、資質・能力全体に関わるものとして位置付ける方向で教科の目標の改善が図られている。

近年の宮崎県の児童の実態を見てみると、資料を読み取ることをはじめ、読み取った事実から、考える・判断する・表現するといった社会的な思考力・判断力・表現力を育てていくことが大きな課題となっている。

これまで本県小社研では、平成27年度より、研究主題を「自ら学び、考え、社会を拓こうとする子どもを育てる社会科学習」、副題を「思考力・判断力・表現力を育む授業の構想」とし、問題解決的な学習を核とした単元構成及び授業構成に関する研究を進めてきた。県内各地区での授業実践や研究発表等を通して、県内の先生方に授業構想の基本的な考え方は少しずつ浸透してきているものの、今回の夏季特別研修を通して、さらに社会科の授業の在り方について情報発信を行っていきたいと考えている。また、令和11年度に開催される小学校社会科の全国大会に向けても研究や準備を進めていきたいと考えている。

そこで、これまでの研究の基本的な考え方は継続しながらも、ICTを活用したり、協働的な学びの場を取り入れたりした問題解決的な学習を取り入れた授業実践により重きをおきたいという考えのもと、令和元年度より副題を「思考力・判断力・表現力を育む授業を通して」と変更することとした。思考力・判断力・表現力を育む具体的な授業の在り方について研究を進めるとともに、授業実践を積み重ねながら、指導方法の工夫・改善を図ることにより、「自ら学び、考え、社会を拓こうとする子どもを育てる社会科学習」をめざしたいと考え、本主題及び副題を設定した。

Ⅱ 主題設定の基本的な考え方

1 社会科で育てたい「資質・能力の基礎」とは

○ 生きて働く「知識・技能」の習得

地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成

社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会の関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

○ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

2 自ら学び、考え、社会を拓こうとする子どもとは

【自ら学び、考える子どもとは】

- 学習や生活の中で、社会に見られる課題をつかみ、知識と技能を活用して主体的に考え、表現しながら課題を解決しようとする子ども

【社会を拓こうとする子どもとは】

- 学習したことを生活に生かし、よりよい社会を考え続ける子ども

3 思考力・判断力・表現力を育む必要性とは

- 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

(学校教育法30条2項より)

- 公民としての資質・能力の基礎の育成～「思考力・判断力・表現力等」

「社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想する力や、考察したことや構想したことを説明する力、それらを議論する力」の基礎を育成することを求めている。

(学習指導要領 社会編より)

- 「説明」、「論述」、「解釈」、「判断」、「読み取り」、「表現」といった「言語活動」の手立てを意図的に位置付けた授業展開を行い、「思考力・判断力・表現力」を育成することが大切である。

(宮崎県教育研修センター資料より)

4 思考力・判断力・表現力とは

☆「思考力・判断力」・・・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力

子どもがもっている知識や資料活用などで得た情報をもとに、「比較」「関連」「総合」などの思考方法を駆使して学習問題を追究・解決するために考える力

☆「表現力」・・・社会的事象について調べたことや考えたことを表現する力

子どもが観察や資料活用などを通して調べたことや考えたことを言語などで表現する力

【子どもの発達段階から（学習指導要領より）】

- 第3、4学年… 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考え、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、考えたことや選択・判断したことを表現する。
- 第5、6学年… 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする。

5 小学校社会科で育てる思考力・判断力・表現力とは

	何を	どのように	どんな場面で育てるか
思考力	○ 社会的事象の意味 ○ 社会的事象の特色や相互の関連	○ 比較・分類したり総合したり、関連付けたりして	○ 学習問題や予想、学習計画を考える場面 ○ 調べたことをもとにして社会的事象の意味などを考える場面 など
判断力	○ 社会的事象の価値や課題 ○ よりよい社会の在り方、自分たちの社会への関わり方	○ 多面的、総合的にとらえて公正に	○ 学習したことをもとに、私は何をすればよいか、これから何が大切かなど、自分の考えを決める場面 ○ 学習したことの中から自分たちが協力できることを選び出す場面 など
表現力	○ 調べたことや考えたこと	○ 言語などで ○ 根拠や解釈を示しながら図や文章などで	○ ノート、作品などにまとめる場面 ○ 話し合う、発表する、提案する場面 など

6 小学校社会科における「見方・考え方」（社会的事象の見方・考え方）とは

- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりする際の「視点や方法（考え方）」であると考えられる。
(学習指導要領 社会編より)
- 社会的事象やそれを構成する事実を見出すこと（見方）とその事象の意味を解釈すること（考え方）の相互作用によって成り立つものである。
- 比較・関連付け、総合などの思考方法と社会科の内容とを結び付け、社会科における思考力、判断力、表現力の育成を支えるものである。

参考文献：「見方・考え方」社会科編
著者 澤井陽介 加藤寿明 東洋出版社

Ⅲ 研究の全体構想図

【社会科目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会を主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

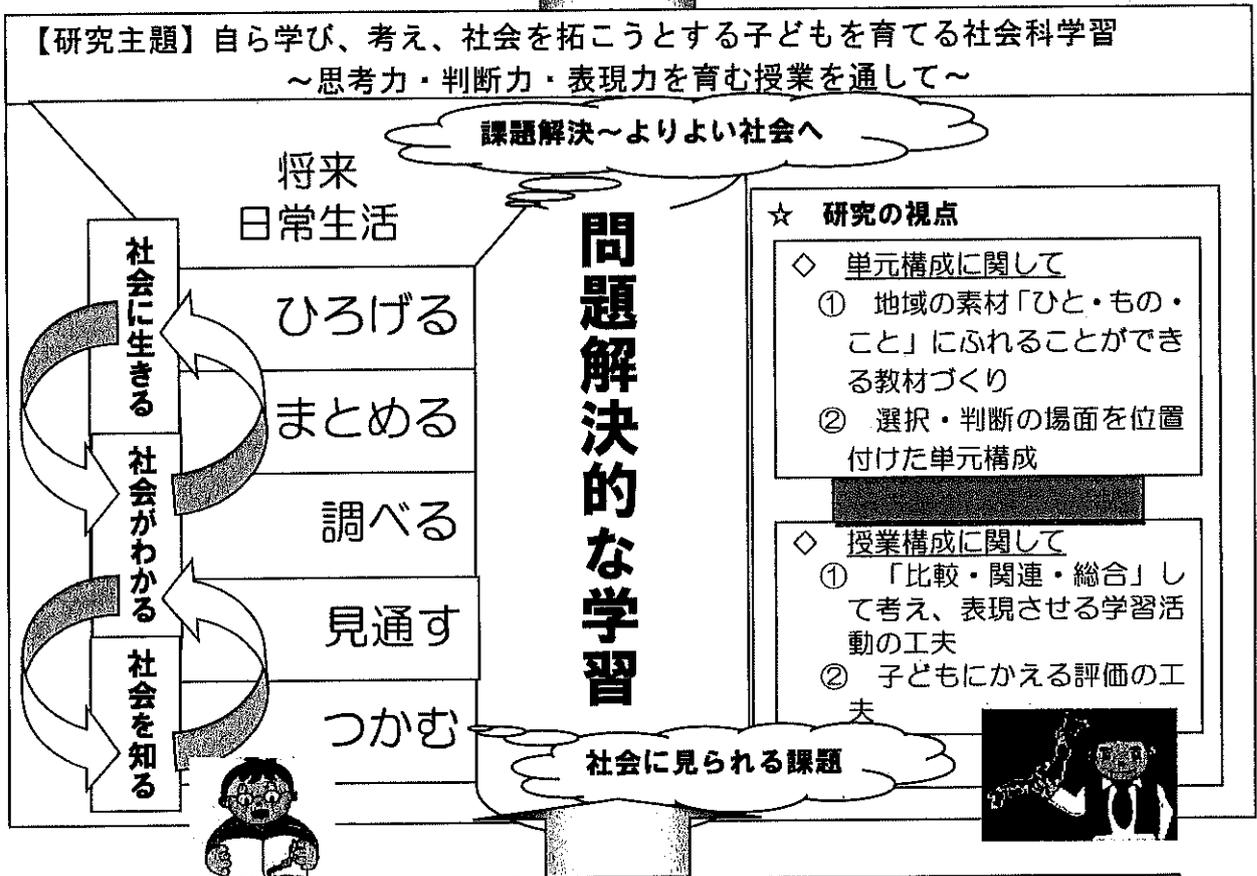
(1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【知識及び技能】

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握したりして、その解決に向けて社会の関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】

(3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。 【学びに向かう力、人間性等】

【めざす子どもの姿】

学習や生活の中で、社会に見られる課題をつかみ、知識と技能を活用して主体的に考え、表現しながら課題を解決し、よりよい社会を考え続ける子ども



今後の教育の方向、子どもの実態、子ども・教師の思いや願い

IV 学習指導要領の方向性と研究との関連

何ができるようになるか

☆社会科の目標

→めざす子どもの姿

学習や生活の中で、社会に見られる課題をつかみ、知識と技能を活用して主体的に考え、表現しながら課題を解決し、よりよい社会を考え続ける子ども

→研究主題

自ら学び、考え、社会を拓こうとする子ども

→副題

思考力・判断力・表現力

何ができるようになったか（子どもにかえる評価）

何を学ぶか

☆社会科の学習内容

→社会に見られる課題

地域の素材など

→「社会を知る」「社会がわかる」「社会に生きる」

どのように学ぶか

☆問題解決的な学習

→「つかむ」「見通す」「調べる」「まとめる」「ひろげる」

→地域の素材「ひと・もの・こと」にふれることができる学習活動

→「比較・関連・総合」して考え、表現させる学習活動

→選択・判断の場面がある学習活動

地域を見つめ、社会に向き合う 学びをつくる社会科学習

～地域教材を活かして、問いをもたせる授業の工夫を通して～

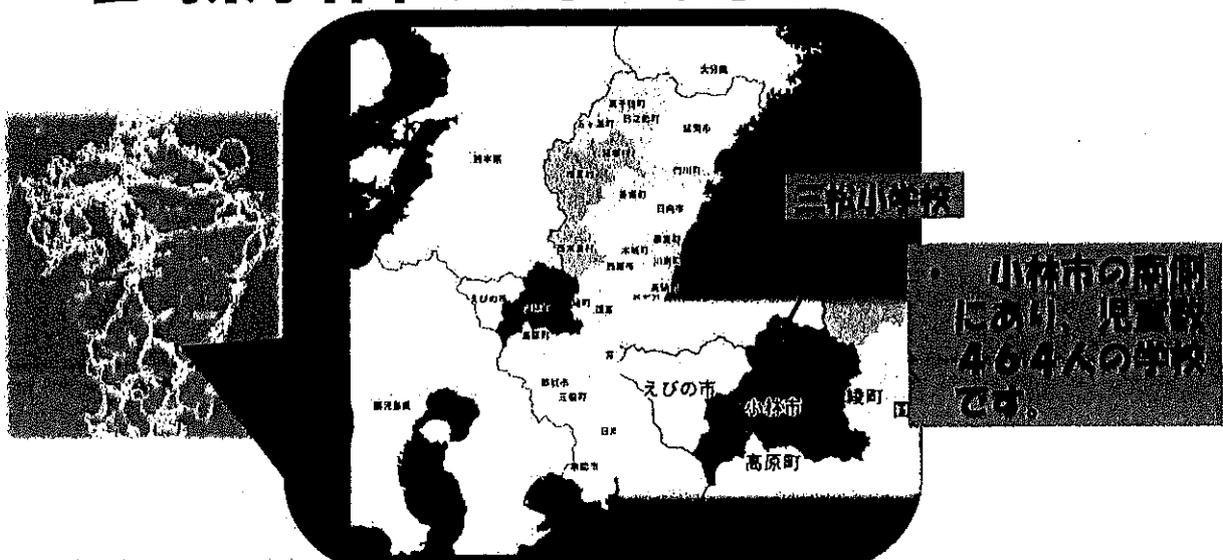
【单元名】

畑ではたらく人びとの仕事・安全な暮らしを守る人びとの仕事

小林市立三松小学校
佐藤 華芳

1

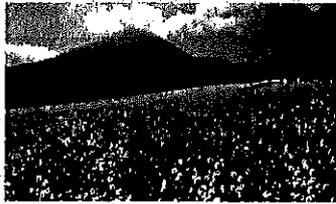
宮崎県小林市ってどんなところ？



2



小林市とは...



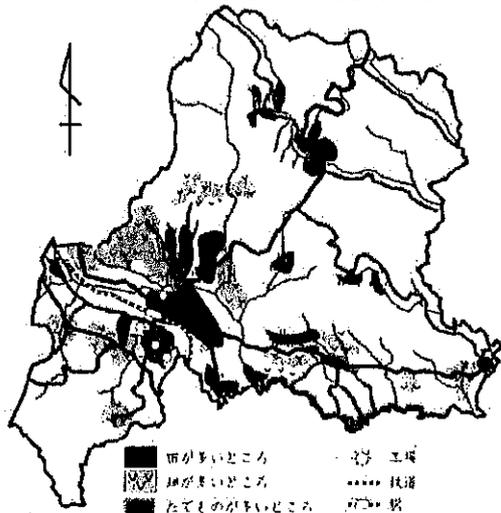
- 南西部には、霧島連山があり、1000メートルをこす山々に囲まれている。
- 湧水の町
霧島裂罅水（地下150m）
- 新燃岳の噴火（2011.1.26）
- 気候は...



夏暑く、冬は冷え込む内陸型の温暖多雨地域で、平野部の宮崎市と比べると、特に冬の気温は低い。

3

小林市の副読本より



① まいにまとめた地図

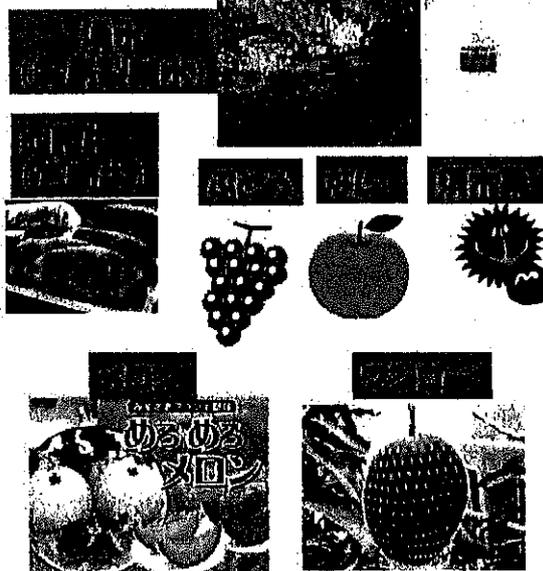
小林市の土地のようす

しらべたところ	分かったことや思ったこと
土地の高いところ、ひくいところ、川のながれているところ	小林市の南と北がわに山が広がっている。南と北の山地からまんなかに向かってなだらかな土地が広がっている。川は、南や北がわの山から、ひくい土地に向かって、流れている。
田畑が多いところ	田は、水がたくさんひつよう。田が川の近くが多いのは、そのためかもしれない。畑は、田のように水がいらないので、川や用水の水が十分にはとれないところでも、野菜など育てることができる。
おもな道や鉄道が通っているところ	国道は、小林市のまんなかを通り、小林市をえびの市、高原町、宮崎市とむすびつけている。富嶽く道や鉄道は、えびの市や高原町へむかっている。
店やたてものが多いところ	交通の便がよくて、お店があるところに、家がたくさんあるようだ。工場は、船ものがはこびやすい道の近くにあるようだ。

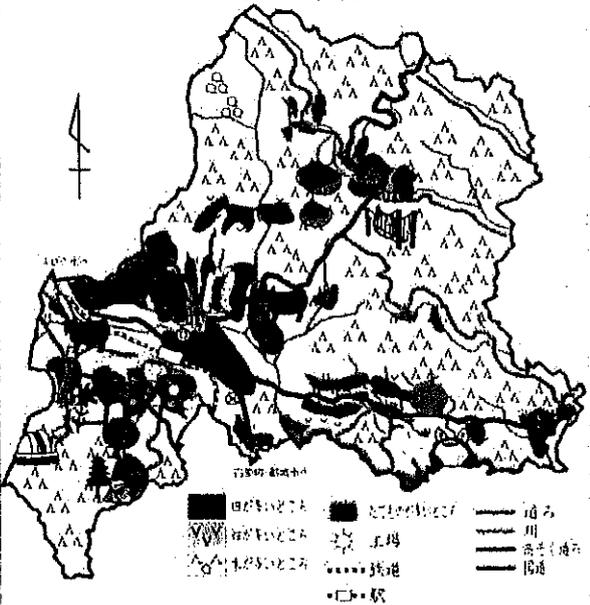
② ノートにまとめたこと

4

小林市の特産品



わたしたちのおすすめ小林市のみどころ



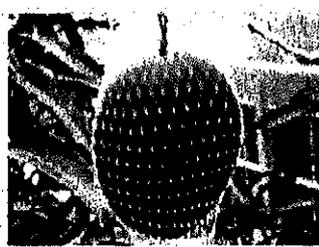
できあがった「市のみどころマップ」

5

マンゴーの生産量 (2018年)

1位 [Redacted]

2位 [Redacted]




6

	沖縄県（那覇市）	宮崎県（宮崎市）	宮崎県（小林市）
年平均気温	23.4度	17.7度	16.5度
月平均最低気温	14.8度	2.9度	1.3度

なぜ・・・？
夏と冬の気温差がある
小林市で、マンゴーの
生産ができたのでしょうか？

冬の気温が氷点下
になることも
去年の1月には、
雪が降りました。



7

小学校学習指導要領要領 社会【第3学年の目標】

(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。

(3) 社会的な事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

【第3学年の内容より】

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

身に付けること

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

8

畑ではたらく人びとの仕事

知識・技能

(ア) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。
(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

思考力・判断力・表現力等

(ア) 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。

仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめ、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現することを通して、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解できるようにすることである。

仕事の様子

地域の人々の生活との関連

9

安全なくらしを守る人びとの仕事

知識・技能

ア 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。
イ 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。

思考力・判断力・表現力等

ア 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめ、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解できるようにすること

相互に連携

地域の人々と

10

小林市の副読本より

まおさんは、マンゴーについても農家の方のお話を聞くことにしました。

農家の方の話

10月にマンゴーを植えるために、まおさんと一緒に大田村に行きました。あそびまおさんをお見せして、必要なマンゴーの品種をマンゴー農家さんに、お話を聞きました。

まおさんには、マンゴーの品種をたくさんお見せして、お話を聞きました。あそびまおさんをお見せして、必要なマンゴーの品種をマンゴー農家さんに、お話を聞きました。

まおさんは、JAの方から、けんさのようすやマンゴーのしゅかりようなどについて教えてもらいました。

まおさんは、JAの方からけんさのようすやマンゴーのしゅかりようなどについて教えてもらいました。

けんさのようすやマンゴーのしゅかりようなどについて教えてもらいました。

11

研究の構想

地域素材を生かした教材の工夫

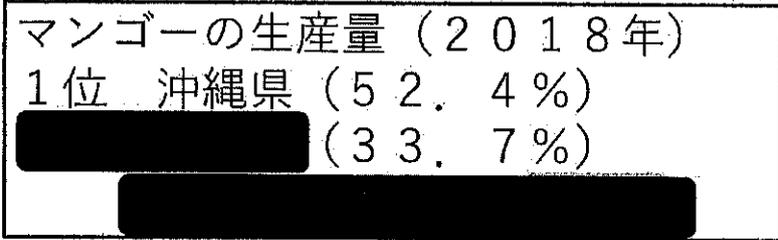
見方・考え方を働かせる発問の工夫

深い学びを実現する資料の工夫

12

地域産物を生かした教育の工夫

- 1 単元名「畑ではたらく人々の仕事」
- 2 本単元を選んだ理由



小林市の生産量（2022年）
180トン

- 3 私の疑問
「なぜ、小林市でマンゴーの栽培が盛んになっているのかな？」

本研究にご協力いただいた地域の方

マンゴー農家の方



松田茂孝さん(野尻地区)
約20年前、マンゴー栽培
を初めて小林に取り入れ
た方。
マンゴー農家の約7割は
野尻地区



坂下さん(三松地区) 他3戸

JAこぼやし担当者

JA野尻支所 温水さん
(営農経済課)

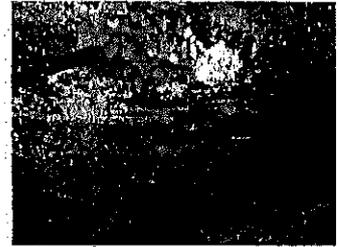
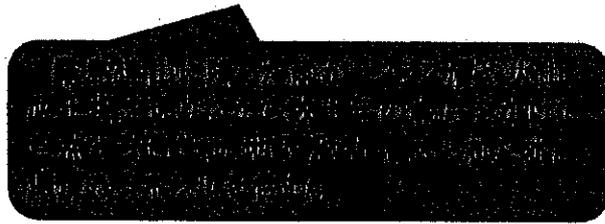


小林市のマンゴーについて調べたこと

① 小林市の気候があっていた

(きりしまれっか)

- ・ 小林市の水の活用(霧島裂罅水の冷たくてきれいな水)



- ・ 小林市の気候(日中は気温が高く、夜は気温が低くなる)

15

小林市のマンゴーについて調べたこと

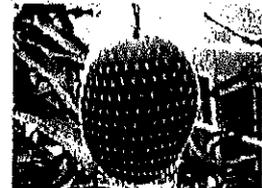
② マンゴー作りに関わる人たちの思い

(農家の方々)

- ・ 農薬の制限があり、メロンの二作ができなくなったため、別の作物を作る必要があった。



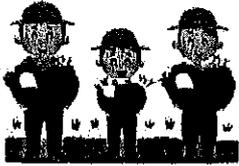
- ・ 当時の宮崎県東国原知事が宮崎県の特産物としてマンゴーの生産に力をいれていた。(助成金の獲得)



16

歴史のなか

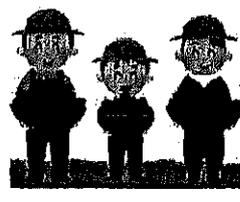
- ・ 野尻町役場（現在は合併し 小林市）の松田茂孝さんが中心になってマンゴー生産を取り入れた。
- ・ 先に栽培を始めている宮崎市にも研修に行って、小林の気候に合ったマンゴーを作る研究や努力をした。
- ・ 松田茂孝さんやJA小林の担当者が年に10回以上沖縄県に研修に行った。
- ・ 小林市の火山灰の土壌が結果的にマンゴーの赤みを出すのに役立った。
- ・ 当時農家の人の生活を考えたり、反対が多かったりして苦労をされた。

17

歴史のなか



- ・ 小林市のマンゴーが農家の生活を支えている
- ・ 小林市のマンゴーがまた食べたいと思わせてくれた
- ・ マンゴーを食べて、おいしいと思ってもらいたい
- ・ 手をかけた分、いいマンゴーができると嬉しい

18

見方・考え方を働かせる資料の工夫①(導入部分)

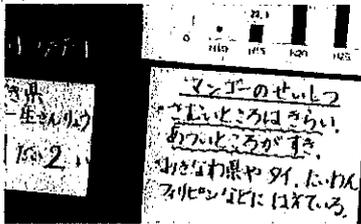
【単元の導入部分】

- 小林市の気候とマンゴーの育つ条件
この2つの資料から疑問を引き出した



マンゴーが育つ条件
暖かいところで育つ
沖縄県が生産量第1位

小林市の気候
宮崎県の中では、標高
が高くて、特に冬は寒い



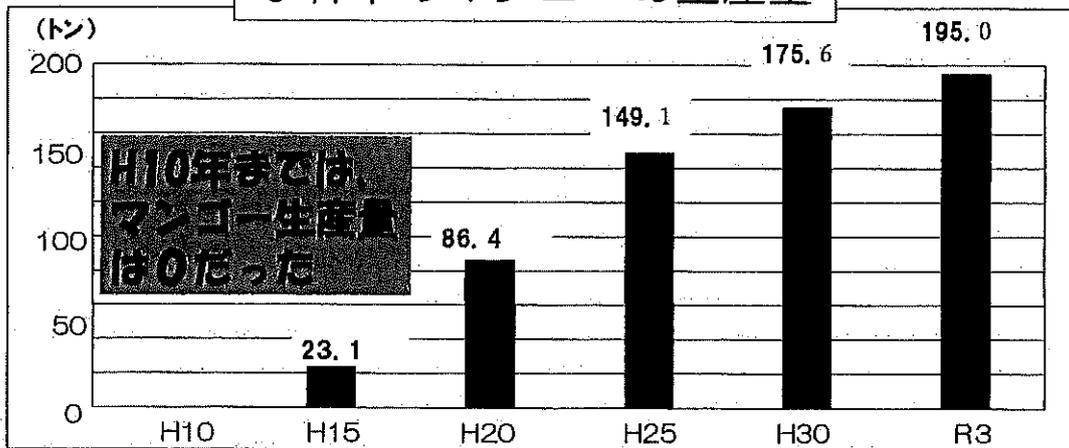
宮崎県マンゴー生産量
第2位
(小林市のグラフ)

なぜ？

19

見方・考え方を働かせる資料の工夫②(発展部分)

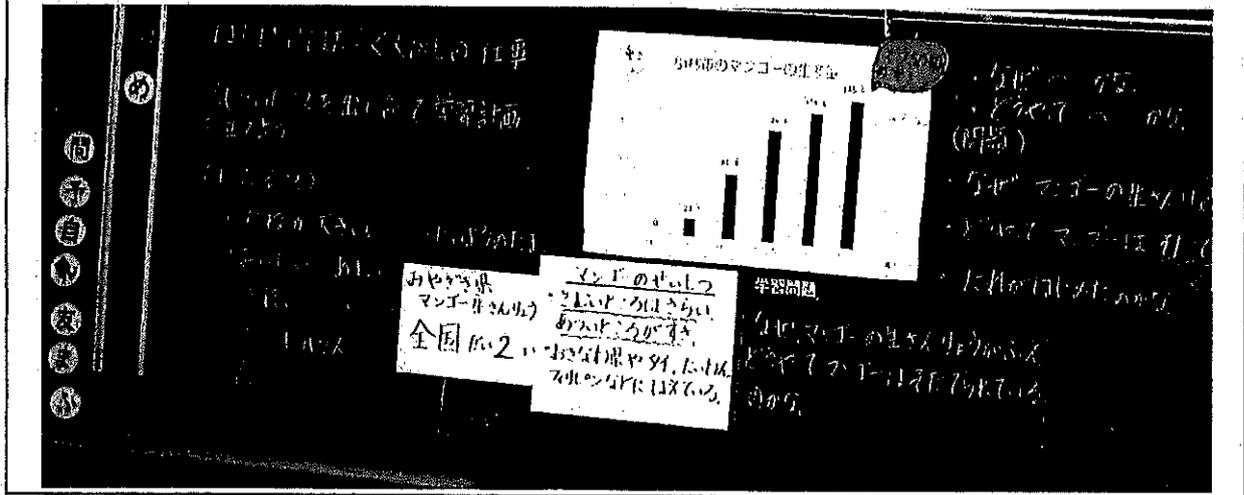
小林市のマンゴーの生産量



20

学習問題

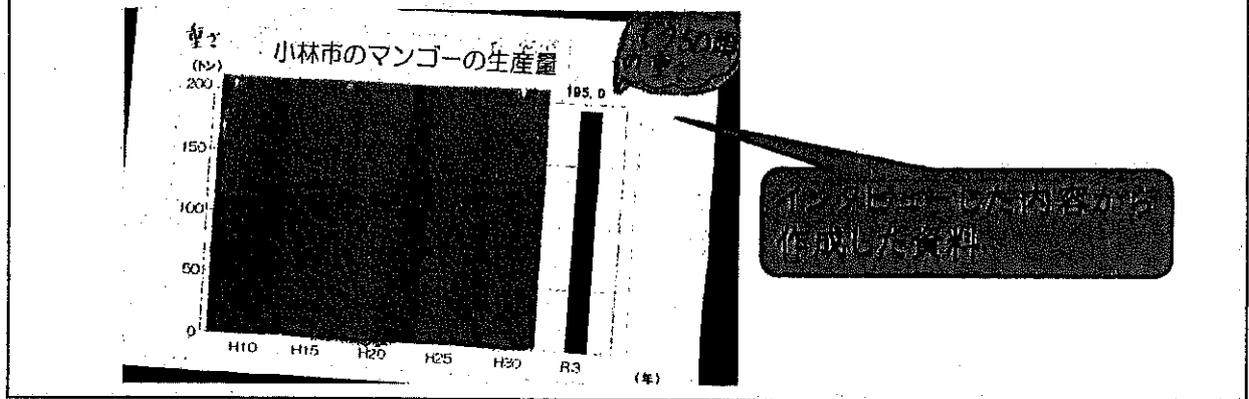
「マンゴーはなぜ小林市で作られるようになり、
どのように作っているのだろう。」



21

調べる内容

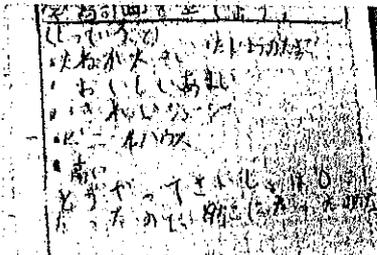
- ①小林市で作られているわけ
- ②マンゴーの作り方
- ③生産量が増えてきているわけ
- ④小林市で作り始めた人
- ⑤どこからマンゴーを持ってきたのか
- ⑥マンゴー作りに関わる人たちの思い



22

【終末】 児童の反応

- ・ 農家さんの思いを児童なりに受け止める姿が見られた。
- 「小林市でマンゴーが作られることに誇りに思った。」
- 「小林市でマンゴーを作ることができることを初めて知った。」
- 「農家の方が工夫や努力をしてマンゴーを作っていることが分かった。」



25



単元名「安全な暮らしを守る(1) 火事から暮らしを守る」

【単元の導入の工夫】

問いを軸にする工夫

- ・ 火事が起きた時の様子の写真(教科書から)
- ・ 火事の時の絵(教科書から)



学習問題

「火事からわたしたちを守るために、どんな人がどんな取り組みをしているのだろうか。」

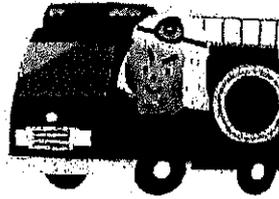
26

学習問題

「火事が起きたとき、わたしたちを守るために、どんな人がどんな取り組みをしているのだろう。」

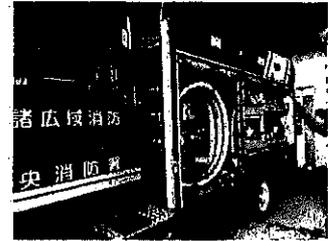
学習計画

- ① 火事が起こったときの連絡の仕組み
- ② 火事が起こったときの消防署の人の仕事
- ③ 消防署の人の普段の仕事
- ④ 地域の人々の活動
- ⑤ 消防設備について



調べる方法

副読本・教科書で調べる。
見学に行く。
インターネットで調べる。



27

小林市の副読本より

市役所の人の話



小林市は、むかしは、「火の町」とよばれ、家が50軒以上もえた大火事が5回もありました。それで、市の中心部の地いきでは、建物をたてるときには、どんなざいりょうを使うか、どのくらいの道はほのところにたてるかなどのきまりをつくりました。そして、道はほを広げたり、用水路などを作ったりもしました。

また、防火対策として、消防に関する法やきまりの一つである消防法が平成16年にかわり、全ての家庭に火災警報器せっちが義務化されました。そこで広報誌でそのことをお知らせもしています。



① 広がった道路

昔、小林市は「火の町」と呼ばれていた。火事から市を守るために、道幅を広げたり、用水路を作ったりした。



28

- ・12時間中の11時間目の授業
- ・本時の問いのもたせ方 地域教材の活用
- ・小林市の火災の発生件数と原因(R3年度)

品目	発生件数	原因
小林市	01	...

本時の学習問題

自分たちで、火事から自分や地域の安全を守るためには、どうしたらいいのかな。

小林市の火災の発生件数と原因の資料
見学した際の児童各自の記録

まとめ

自分たちも、自分の命は自分で守ることが大切である。

【終末】 児童の反応

- ・自分たちで命を守ることが大切だという姿が見られた。
- 「家でストーブを使う時には、近くに物を置かない。」
- 「火事が起きた時どうするかを家族で話し合いたい。」
- 「地域の安全を守るために、日頃からごみを拾ったり、挨拶したり、呼びかけたりする。」



児童の反応

- ・自分たちで命を守ることが大切だという姿が見られた。
「家でストーブを使う時には、近くに物を置かない。」
「火事が起きた時どうするかを家族で話し合いたい。」
「地域の安全を守るために、日頃からごみを拾ったり、挨拶したり、呼びかけたりする。」



31

研究の成果

地域素材を生かした教材の工夫

- 児童の興味関心が高まり、問題意識をもち、児童がより自分たちの問題として捉えて、考えることができた。
- 児童が地域への誇りや愛情を高めることができた。

見方・考え方を働かせる発問の工夫

- 様々な資料から、「なぜ?」「どうして?」につながる発問を行うことにより、児童に社会事象の特色や相互の関連、意味を考える視点を与えることができた。

深い学びを実現する資料の工夫

- 指導者が、実際にその仕事に携わる方の思いを捉えることで、問いをもったり、興味をもったりし、調査した多くの情報を取捨選択しながら、児童の深い学びに繋がる資料作成を工夫することができた。

32

今後の課題

地域素材を
生かした教材の
工夫

- 児童にとって身近なものを教材化することで、問題意識がより高くなるので、他の単元でもさらに地域素材を教材化していきたい

見方・考え方を
働かせる発問の
工夫

- 児童自らが、社会的事象の見方・考え方を働かせることができるように、多面的・多角的な視点から発問を工夫していく必要がある。

深い学びを実現
する資料の工夫

- 深い学びを実現できるように、教科書の情報や指導者が集めた情報を取捨選択しながら、目的に応じた資料を活用したり、作成したりする工夫をしていく必要がある。

33



ご清聴ありがとうございました。

34

【学年部別授業づくり研修資料】

学年部別授業づくり研修（14:45～15:40）

部会	授業提案者	司会者	会場	
中学年	延岡市立東小学校 指導教諭 東坂 将秀	串間市立大東小学校 教諭 別府 貴裕	101 研修室	ブレイク アウト ルーム①
高学年	延岡市立北川小学校 教諭 長友 強	宮崎大学教育学部附属小学校 教諭 上園 真輝	102 研修室	ブレイク アウト ルーム②

本日の研修テーマ

児童の主体的な学びにつながる単元の導入はどうあればよいか。
(単元を貫く学習問題作りについて)

☆ 11月30日実施 県小社 延岡大会での公開授業

○ 単元名 残したいもの 伝えたいもの

○ 目標

- ・ 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることが理解できるようにする。 (知識・理解)
- ・ 県内の文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、見学・調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめることで、県内の文化財や年中行事について人々の願いや努力を考え、表現することができる。 (思考・判断・表現)
- ・ 主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、地域の伝統や文化の保存の伝承に関わって、自分たちができることを考えようとする態度を養う。 (学びに向かう力・人間性)

○ 単元計画 (全10時間)

学習活動	
1 ～ 2	○ 「天下一薪能」について話し合い、学習問題や学習計画をつくる。 ☆ 写真や動画を視聴しながら、疑問に思ったことを出し合い、学習問題の設定につなげる。
2	【学習問題①】 天下一薪能はどうして、長い間にわたって続けられてきたのだろう。
3 ～ 5	○ 天下一薪能について調べる。 ・ どんなことをするのか ・ どのように守られてきたのか。 ・ 一度途切れた薪能が、どうして復活したのか。
6	○ 学習問題①に対するまとめを行い、学習問題②を設定する。 【学習問題②】 天下一薪能以外にも、延岡市や宮崎県では、古くから残るものはあるのだろうか。
7 ～ 9	○ 延岡市内や宮崎県に残されている文化財や年中行事について調べる。 ☆ 個人で副読本などからテーマを一つ決め、インターネット等で調べ活動を行う。
10	○ 学習問題②に対するまとめを行い、古くから残るものを守っていくために、自分たちにはどんなことができるのか考える。

【補足資料 天下一薪能とは 延岡市観光協会 HP より】

「天下一」とは、安土桃山時代から江戸時代初期にかけ、「天下一」の称号を授けられた能面作家のことで、延岡市には「天下一」の手による能面 30 点が所蔵されています。

「のべおか天下一薪能」では、この「天下一」の能面を使用し、能楽界最高峰の演者達が舞うもので、日本を代表する薪能となっています。

「薪能」は、今では一般に夜に篝火を焚いて演じる能のことをいいますが、もともとは平安時代に奈良の興福寺において、2月に行なわれていた「修二会」という行事に付した神事・猿楽（能）をさすものでした。

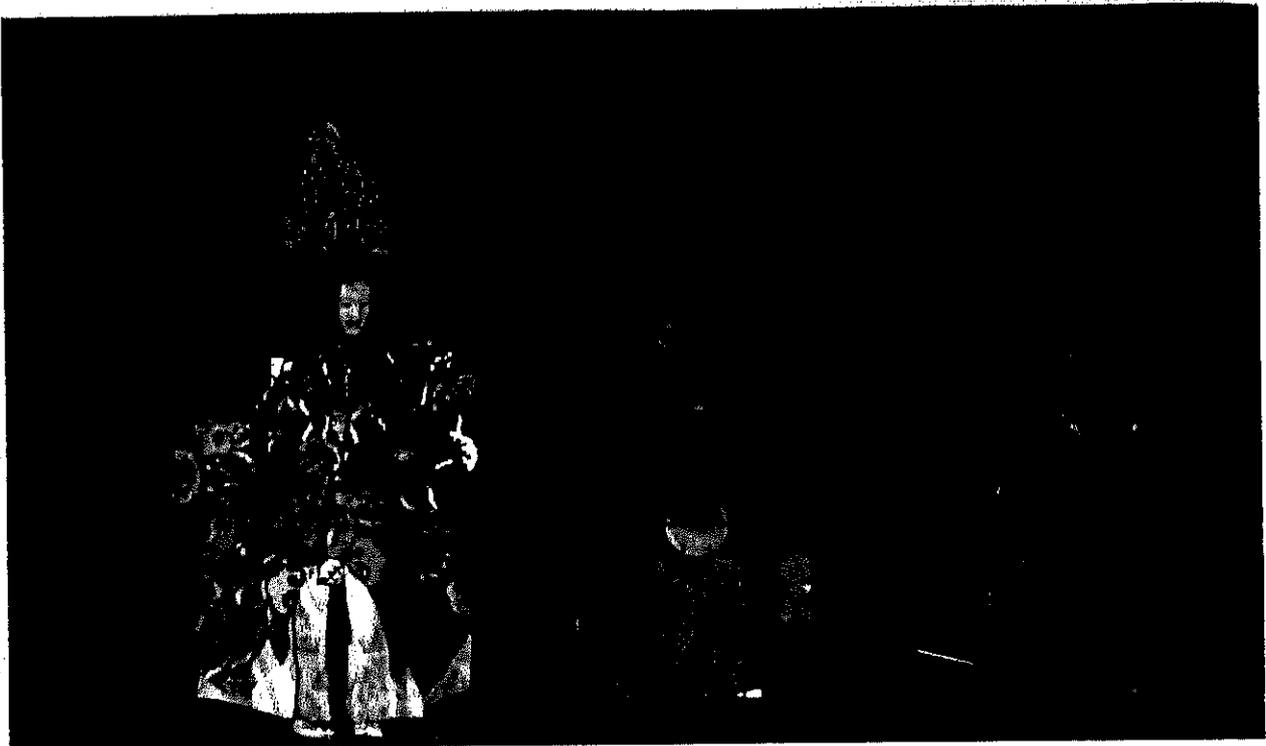
イベントとしての「薪能」は、昭和 25 年に京都の平安神宮で行なわれる「京都薪能」が始まりとされています。

自前の能面を使って行なわれるのは、この延岡と広島・厳島神社の 2 箇所のみで、厳島神社が「祭礼」として行なわれるのに対し、「のべおか天下一薪能」は「地方都市のイベント」として行なわれている唯一の催事です。江戸時代の諸大名には、能面、装束類など能の道具を数多く収集した者もいましたが、明治に入り、経済的な理由から、その多くが手放されているのが現状です。

現在、これほど充実したコレクションを保持しているのは全国的にも珍しいとされています。

「能楽」は、2001 年、ユネスコの「世界文化遺産」に認定されました。また、「のべおか天下一薪能」に出演された先代の片山九郎右衛門氏は、同年「人間国宝」になりました。かがり火に浮かび上がる千人殺しの石垣を背景に演じられる能は、観客を幽玄の世界へといざないます。

【天下一薪能の様子】（延岡市作成 副読本より）



○ 本時の目標

- ・ 天下一薪能の写真から、気付いたことや疑問に思ったことを書き出し、学習問題を作ることができる。

○ 学習指導過程

段階	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	準備物
導入	<p>1 延岡で行われる行事について話し合う。</p> <p>【予想される意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールデンゲームズ ・ 大師祭り ・ まつり延岡 ・ 花火大会 <p>2 天下一薪能の写真を提示し、本時学習のめあてを設定する。</p> <p>【めあて】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>天下一薪能の写真を見て、気付いたことを話し合い、これからの学習問題を作ろう。</p> </div>	<p>○ 写真を提示しながら、延岡で行われる行事について話し合い、本時学習への興味・関心を高める。</p> <p>○ 天下一薪能の写真を提示し、本時学習のめあての設定につなげる。</p>	
展開	<p>3 天下一薪能の写真を提示し、気付いたことや疑問に思ったことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>悩んでいます…</p> <p>提示した資料だけで、児童は疑問に思ったことを出すことができるか。</p> <p>また、どんな発問、指示を出せば、児童が主体的な学びにつながる学習問題を作ることができるか…</p> <p>色々な資料を添付しています。(一部は、QRコードからサイトに入ってください。)どんな資料が良いか、合わせて検討してください。</p> </div> <p>4 話し合ったことをもとに、これからの学習問題をつくる。</p> <p>【学習問題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>天下一薪能はどうして、長い間にわたって続けられてきたのだろう。</p> </div>		
終末	<p>5 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の感想 <p>6 次時学習の内容を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習問題に対する予想 ○ 学習計画作り 		



【天下一新能に関する資料① 副読本より】



「お面をつけていない人も
衣しょうを着てえんじて
いるよ。いろいろなえん
じ方があるみたいだね。」



②のべおか天下一新能



「お面には、いろいろな
^{ひょうじょう}表情をしたものがある
ね。えんじる役^{やく}によって、
それぞれ使う場面がちが
うそうだよ。」



③三光飛出

④小面



「天下一新能の舞台^{ぶたい}をつく
るために、学生などのボラ
ンティアが協^{きょうりょく}力をしてく
れているそうだよ。」

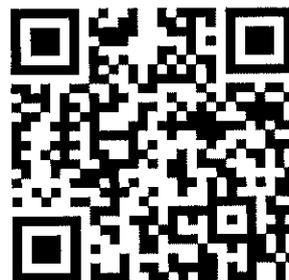


⑤舞台づくりの様子

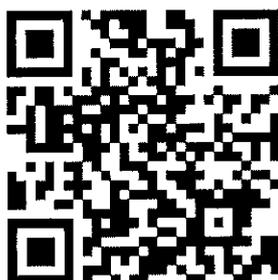
【天下一薪能に関する資料② 延岡市観光協会 HP】



【天下一薪能に関する資料② 夕刊デイリーより】



【天下一薪能に関する資料③ 宮日新聞デジタル版より】



1 単元 明治の国づくりを進めた人々

2 単元の目標

- 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、文化財や地図、年表などの資料で調べ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを理解したり、明治維新で誰がどのように世の中の仕組みを整えたのかをまとめたりすることができる。
(知識・技能)
- 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを関連付けて、このころの政治の仕組みや世の中の様子の変化を考えたり、明治維新で活躍した人物について自分の考えをまとめたりして、適切に表現することができる。
(思考・判断・表現)
- 学習問題を立て、その解決に向けた学習計画を立てて、解決の見通しをもととする。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元計画 (8時間)

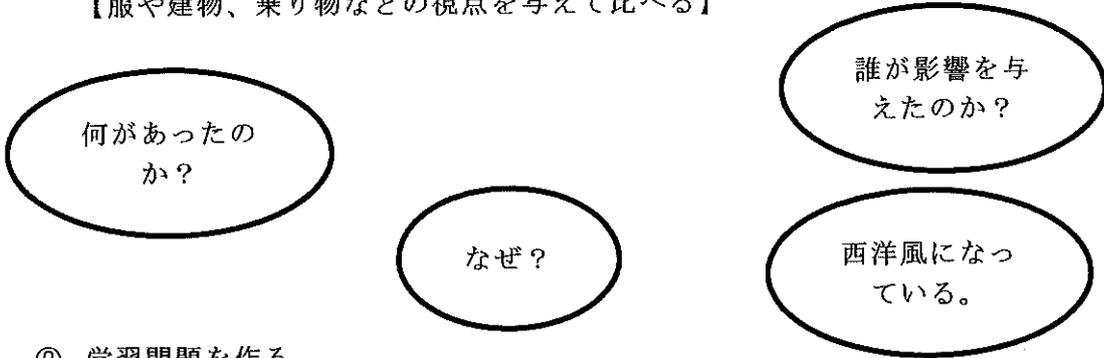
段階	主な学習活動と内容	時数	評価計画
つかむ・見通す	<p>1 江戸時代末と明治時代初めの2枚の絵を比べ、変わったことを明らかにして、学習問題を作る。</p> <p>明治維新では、誰が、どのような世の中にしたのだろうか。</p> <p>2 既習事項から、学習問題の結論について予想し、解決に向けて学習計画を立てる。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習問題を作り、その解決に向けた学習計画を立てて、解決の見通しをもととする。 (主体的に学習に取り組む態度)
調べる	<p>3 開国後に武士たちがどのような思いをもって活動し、世の中がどのように変わったのかを調べる。</p> <p>4 新しい政府がどのような国づくりを進めようとしたのかを調べる。</p> <p>5 文明開化の意味を明らかにし、人々の生活の変化を調べる。</p> <p>6 政府の改革に不満をもつ人々の行動について調べる。</p> <p>7 大日本帝国憲法や国会の特色について調べる。</p>	1 1 1 1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国が開国したことや新しい政府が誕生したことを理解する。(知・技) ・ 明治の諸改革を関連付け、明治政府がめざした国について考え、表現する。(思・表) ・ 文明開化について調べ、人々の生活が大きく変化したことを理解する。(知・技) ・ 西南戦争が起こった理由や自由民権運動について考えたことを表現する。(思・表) ・ 大日本帝国憲法や国会について理解する。(知・技)
まとめる	<p>8 これまで調べたことを想起し、明治維新では、誰がどのような世の中にしたのかをまとめる。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治維新では、誰がどのような世の中にしたのかをまとめる。(知・技)
広げる	<p>9 総合的な学習の時間や社会科で学習したことをもとに、明治維新の功労者は誰なのかを話し合う。</p>	1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治維新で活躍した人物について、誰が功労者なのかを考え、表現する。(思・表)

小単元の流れ

(1/8)

1 「つかむ」場面

- ① 江戸時代末と明治時代初期の様子を比較し、疑問を出し合う。
【服や建物、乗り物などの視点を与えて比べる】



② 学習問題を作る。

明治維新では、誰が、どのような世の中にしたのだろうか。

2 「見通す」場面

- ① これまでの学習経験や西郷隆盛について学んだ総合的な学習の時間の内容から、学習問題について予想する。



② 学習計画を立てる。

【調べる内容（児童からの疑問）】

- ・ 明治維新では、誰が、なぜ行ったのか？
- ・ 西郷隆盛や大久保利通は、どんなことをしたのか？
- ・ 人々の生活はどのように変わったのか？
- ・ なぜ、小倉処平は「このままの政府ではだめだ。」と言ったのか？ など

【調べる方法】

- ・ 教科書や資料集
- ・ 総合的な学習の時間で調べた資料

※ 参考：【2学期の総合的な学習の時間で子どもたちが調べること】

北川にゆかりのある人物について

西郷隆盛

- ・ 明治政府軍と戦った。
- ・ 北川が最後の宿陣跡だった。
- ・ 西郷隆盛宿陣跡資料館を見学
- ・ 北川で軍を解散した。軍服を燃やした。
- ・ 西郷隆盛の人物像、一生 など

調べ、まとめ、相互に関連付けて、

小倉処平

- ・ 飢肥藩出身、小村寿太郎を育てる。
- ・ 小倉処平加療の地を見学
- ・ このままの政府ではだめだと思った。
- ・ 西南戦争に薩摩軍として参加し、飢肥藩騎兵隊を率いた。
- ・ 小倉処平の人物像、一生 など

「調べる」場面

(2/8)

3 若い武士たちが幕府を倒す

明治維新を進めた人々は、どのような思いをもっていたのだろうか。

- ① 1853年、ペリーが開国を求める。1854年、日米和親条約を結び、国交を開く。
(鎖国が終わる) 【ペリーの上陸の資料】
- ② 1858年、日米修好通商条約を結ぶ。
外国との貿易が始まると・・・日本国内の物価が急に上がって、町人や下級武士の生活は苦しくなり、不満が高まった。
貿易に反対した長州藩や薩摩藩は、外国と戦ったが、力の差は大きかった。
【長州藩の砲台を占領した外国の軍隊の資料】
- ③ 強い国づくりを進めるため、新しい政府を作る運動を始めた。
大久保利通…薩摩藩出身、討幕運動の中心、明治政府の指導者
西郷隆盛…薩摩藩出身、長州藩と同盟を結ぶ、討幕運動、明治政府の指導者、後に薩摩に帰る
木戸孝允…長州藩出身、討幕運動の中心、明治政府の指導者、五箇条のご誓文を作成
【明治の3傑の人物資料、江戸無血開城の資料、五箇条のご誓文の資料】

大久保利通

西郷隆盛とともに討幕運動の中心になった。明治政府の指導者になり、近代日本の方向を決めた。

西郷隆盛

長州と同盟を結び、討幕運動で大きな役割を果たした。また、江戸のまちを戦火から守るために力をつくした。明治政府の指導者になったが、後に薩摩に帰った。

木戸孝允

討幕運動の中心になり、明治政府の指導者になった。五箇条の御誓文を作成した。

強い国づくりを進めるため、新しい政府を作る運動を進めた。

- ④ 徳川慶喜は政権を朝廷に返す。江戸幕府が終わる。
- ⑤ 明治新政府軍と旧江戸幕府軍の間に戦いが起きたが、新政府軍が勝利。
☆ 西郷隆盛はどちらの軍かな？

明治維新を進めた人々は、江戸幕府を倒して強い国づくりを進めようと思い、新政府を作ろうとした。

(3/8)

4 大久保利通と明治新政府の改革

- 版籍奉還→廃藩置県…政府の役人を全国に派遣
- 殖産興業…工業の近代化 ○ 徴兵令…強い軍隊を作る → 富国強兵
- 地租改正…安定した国の収入

☆ 大久保利通が進めた改革についてどう思うかな？ 賛成？反対？

(4/8)

5 新しい世の中の文化や生活

文明開化(文化や生活) 福沢諭吉「学問のすゝめ」

☆ 福沢諭吉の考えについてどう思うかな?
学制、解放の法令、電報、郵便、鉄道など

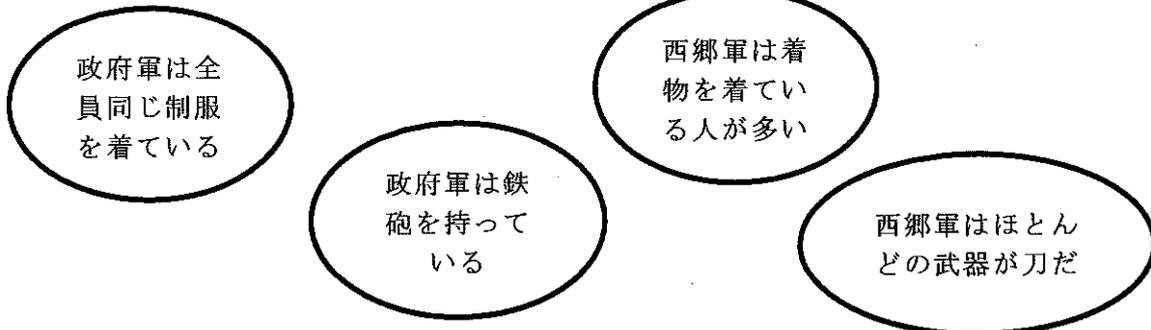
(5/8)

6 板垣退助と自由民権運動

政府の改革に不満をもつ人々は、どのような行動をとったのだろうか。

① 西南戦争で政府軍に、士族からなる西郷軍は敗れた。【西南戦争の資料】

☆ 西南戦争の資料を見て、政府軍と西郷軍のちがいは何かな?



☆ なぜ、大久保利通と西郷隆盛は戦ったのかな?

【教科書の文章資料、政府の改革、総合的な学習の時間の資料をもとに考える】

それぞれの思いは?

政府による改革が進む中で、多くの士族は、武士として得ていた収入を失い、生活に困るようになってきました。

...

このため、西郷隆盛を中心とする西南戦争など、生活に不満をもつ士族による反乱が各地で起こりましたが、すべて政府の軍隊によってしずめられました。

大久保利通

- 政府軍

西郷隆盛

- 西郷軍

政府の改革を進めるために、例え西郷さんでも、政府に反抗する人々は力ではしずめず。

今の政府ではだめだ。生活に不満をもつ士族のためにも、政府を倒そう。

② 言論で主張→国会を開き、憲法を作ることなどを求める自由民権運動が広がった。

【板垣退助の資料、自由民権運動の資料】

政府は国会を開くことを約束

☆ 板垣退助が中心になって進めた自由民権運動をどう思うかな?

政府の改革に不満をもつ士族たちは、西南戦争などを起こしたが、政府によってしずめられた。その後、自由民権運動が広がり、政府は国会を開くことを約束した。

(6/8)

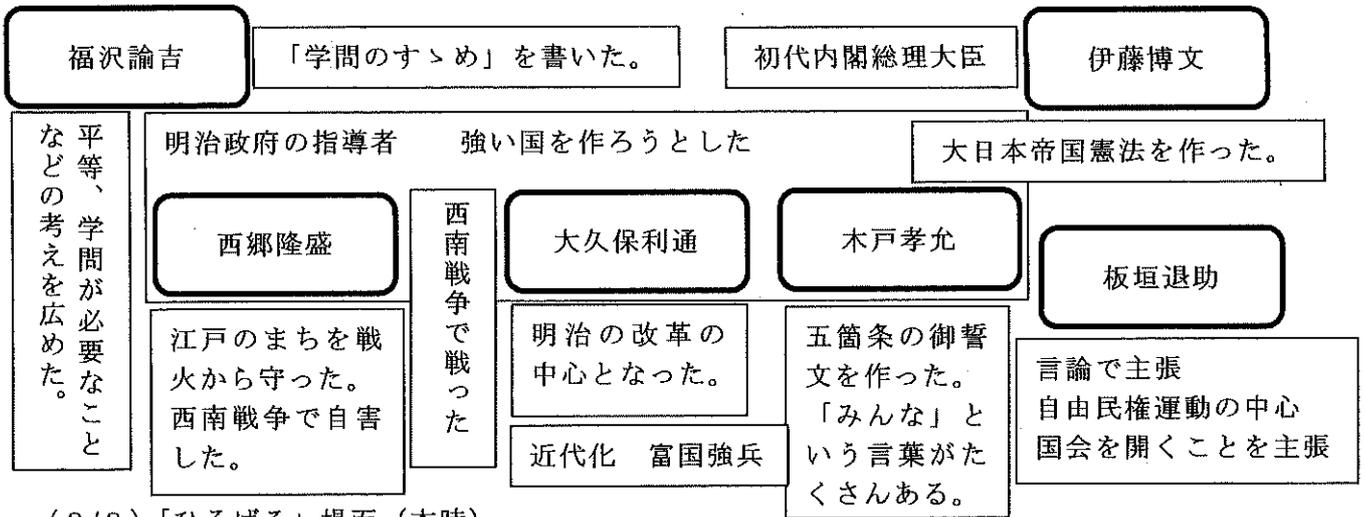
7 伊藤博文と国会開設、大日本帝国憲法

国会、大日本帝国憲法、主権者は天皇、選挙

(7/8)「まとめる」場面

8 これまで調べたことを年表などで振り返り、明治維新で誰がどのような世の中にしたのかをまとめる。

- ・ 大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允、福沢諭吉、板垣退助、伊藤博文の人物についてまとめ、人物関係図を作る。



(8/8)「ひろげる」場面 (本時)

9 明治維新で活躍した人物について、明治維新で一番の功労者は誰なのかを考え、表現することができる。

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	資料・準備
導入 7分	1 本時の学習について話し合う。 ・ めあての確認 明治維新で、一番の功労者は誰だろうか。 2 解決の見通しをもつ。	○ 前時でまとめた人物関係図を基に、本時のめあてに迫ることで、学習への意欲を高める。 ○ 学習の見通しを示し、進んで学習できるようにする。	人物関係図
展開 30分	3 問題を解決する。 ・ 個別で考える (5分) 【児童の記述例】 私は板垣退助が一番の功労者だと思います。その理由は、自由民権運動の中心となって活躍して、武力ではなく、言論の世の中にしたからです。 ・ グループで話し合う (5分) ・ 全体で話し合う (20分)	○ 人物関係図や既習事項を基に、明治維新の功労者と理由を考えられるようにする。また、ワークシートを使うことで、考えをもてない児童もイメージできるようにする。 ○ 早く書き終わった児童には、2番目、3番目の功労者を考えるように助言する。 ○ グループで話すことにより全員が考えを表現し、気軽に質問できるようにする。 ○ 自分の考えを発表するだけでなく、質問したいことや友達の考えを聞いて変わったことも表現できるようにする。	ワークシート
終末 8分	4 学習のまとめをする。	○ 全体で話し合ったことを板書にまとめておき、それを基に明治維新の功労者について児童がまとめられるようにする。	

【授業研究の視点】

- 地域教材「ひと・もの・こと」を生かした問題解決的な授業
 - ・ 総合的な学習の時間と関連した指導
 - ・ 総合的な学習の時間で学習した知識や資料を授業のところどころで関連付ける。

- 思考力、判断力、表現力を高める授業
 - ・ この単元における思考力、判断力、表現力を高める授業、場面は？
 - ・ 単元を通して、人物がしたことについて考える活動を位置づける。

- ◎ 「ひろげる」場面の学習内容
 - ・ 単元を通して考えたことを基に、選択、判断する活動を位置づける。
 - ・ 「明治維新の一番の功労者は？」

県義務教育課による講習（15:50～16:20）

未来社会を生きる児童に必要な資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について

【講師】 県教育庁義務教育課 指導主事 田中 義栄
授業力アッププロジェクトチーム協議会社会科部会

